



2024年1月26日

各 位

## 全固体電池向け固体電解質「A-SOLiD®」量産試験用設備の 第2次生産能力増強投資を決定

当社（社長：納 武士）は、成長事業の1つと位置付けている全固体電池<sup>\*1</sup>向け固体電解質「A-SOLiD<sup>®\*2</sup>」の量産試験用設備について第2次生産能力増強投資を決定いたしましたのでお知らせいたします。

次世代の蓄電池として期待されている全固体電池は、電気自動車（EV）をはじめとした幅広い用途で開発が進んでおります。当社は、長年培った電池材料技術を活かして開発したA-SOLiD<sup>®</sup>をそのキー・マテリアルと位置づけ、お客様や市場パートナーの皆様と全固体電池の実用化に向けた取り組みを進めております。

2023年2月7日付「全固体電池向け固体電解質「A-SOLiD<sup>®</sup>」量産試験用設備の生産能力増強について」にてお伝えいたしました第1次生産能力増強（現状の倍増）は3月に完了を予定しておりますが、国内外の活発な全固体電池開発競争を背景とするA-SOLiD<sup>®</sup>の更なるニーズの高まりに対応すべく、既存の量産試験棟内への第2次生産能力増強投資を決定いたしました。これにより、量産試験用設備の生産能力は現状の3倍程度となります。また同時に、更に量産性が高く品質安定化が図れる設備を導入することで、より一層の量産品質向上を図ってまいります。

A-SOLiD<sup>®</sup>の性能と品質はこれまで市場で高く評価されており、お客様や市場パートナー様へ安定したサンプル供給を継続してまいりました。この度の生産能力増強および量産品質向上も今後見込まれる全固体電池開発を更に後押しするものと見込んでおり、当社はA-SOLiD<sup>®</sup>の安定供給を通じた全固体電池の社会実装に向けて引き続き貢献してまいります。

当社はパーパスである「探索精神と多様な技術の融合で、地球を笑顔にする。」を基軸に、EV用途をはじめ、全固体電池ならではの新しい用途を皆様と共に創造し、サステナブルな社会作りに貢献します。

以上

## 【量産試験棟の概要】

所在地：事業創造本部 総合研究所 敷地内（埼玉県上尾市原市 1333-2）

## 【お問い合わせ先】

三井金属 経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部

TEL：03-5437-8028 Eメール：[PR@mitsui-kinzoku.com](mailto:PR@mitsui-kinzoku.com)

## 【用語解説】

### ※1 全固体電池

高エネルギー密度化、高入出力特性、高耐環境性などの特徴を有し、特殊環境下における用途や新しい蓄電用途および電気自動車（EV）用途において精力的に開発が進められており、一部は実用化段階を迎えています。

### ※2 A-SOLiD®

当社が開発した固体電解質は、有機電解液と同等水準の高いリチウムイオン伝導性を有し、電気化学的にも安定な「アルジロダイト型硫化物固体電解質」であることを特徴とし、「A-SOLiD®」として商標登録をしております。本ブランドのもと全固体電池の普及に貢献していきます。

（ご参考）

2023年2月7日 「全固体電池向け固体電解質「A-SOLiD®」量産試験用設備の生産能力増強について」

[https://www.mitsui-](https://www.mitsui-kinzoku.com/LinkClick.aspx?fileticket=NHPa8eDb3gk%3d&tabid=199&mid=826&TabModule950=1)

[kinzoku.com/LinkClick.aspx?fileticket=NHPa8eDb3gk%3d&tabid=199&mid=826&TabModule950=1](https://www.mitsui-kinzoku.com/LinkClick.aspx?fileticket=NHPa8eDb3gk%3d&tabid=199&mid=826&TabModule950=1)



アルジロダイト型硫化物固体電解質「A-SOLiD®」写真



A-SOLID®を生産する量産試験棟